



県政報告 県政を身近に

令和2年
2020
冬季号

Vol.34

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

ご挨拶

令和に入り、初めての新年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は、台風の上陸が相次ぎ、特に台風第19号により未曾有の被害をもたらした「災害の年」になりました。一日も早い復興を進めるため、議会としても復旧工事のスピードアップを促してまいります。

今年は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される「スポーツの年」です。本県においては4会場で開催されます。この世界的なイベントが、スポーツ、健康、観光、産業など様々な分野で、明るい地域をつくる契機となることを期待しています。

令和元年12月定例県議会 (令和元年12月2日～12月20日)

台風第19号による被害の復旧経費を中心とした補正予算

今回の補正予算は、昨年10月12日から13日にかけての台風第19号による災害の復旧に係る経費への対応と、東京2020オリンピック・パラリンピックの観戦機会の提供など、当面緊急に対応が必要な事業を計上しました。

一般会計 231億3,976万7千円

特別会計(災害救助事業ほか2会計) 15億8,283万4千円

企業会計(地域整備事業) 13億968万7千円

【主な内容(一般会計)】

●**台風第19号により被害を受けた方への支援**
中小企業や農家、社会福祉施設等に対する支援 約41億円

災害救助法に基づく被災住宅の応急修理経費の負担(災害救助事業特別会計) 12億5千万円

台風被害の影響を受けた観光業に対する宿泊促進のための補助 9,527万円

●公共施設等の災害復旧

道路、河川、砂防、公園 122億5,920万円

農業用施設、森林管理道等 62億1,573万円

交通安全施設、社会教育施設等 4億6,029万円

*毛呂山町、越生町、鳩山町における災害復旧対象箇所は、裏面に掲載しました。

東京2020オリンピック・パラリンピックの観戦機会の提供

県が東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会とチケットを確保する契約を結ぶため、2億5,503万円の債務負担行為を設定しました。

これは、県内の学校の児童、生徒や地域団体、ホストタウン用に99,635枚の観戦チケットを確保するものです。

*債務負担行為：2年度以上にまたがる事業を行う際、契約締結により将来発生する負担の期間と限度額を決めること。

決算特別委員会の審査終了 平成30年度決算認定される

9月定例会に提案された平成30年度の一般会計、特別会計、公営企業会計決算が認定されました。9月定例会以降、決算特別委員会(武内県議が委員)で閉会中に審査を行い、12月議会に認定の審査結果が報告され、本会議で承認されました。

■決算特別委員会の開催日程

10月28日、29日(視察)、30日、11月1日、6日、8日、11日、13日、15日

視察先：
旧騎西高校跡地を活用したSFAの運営によるフットボールセンター(加須市)



武内県議一般質問に立つ



一般質問では、9月定例会において知事が提出を約束し、11月末に発表された工程表をめぐり、知事公約の実現性について様々な

な質疑が行われました。武内県議は、12月6日、一般質問初日のトップバッターに自民党議員団の代表として登壇しました。

質問内容

①知事公約と今後の施策展開

大野知事に対して、知事の経営理念や知事公約の工程表の内容・考え方を聞きました。

②災害発生時における対応

台風第19号による越辺川におけるポンプ場の不適切な操作対応について、経緯と操作受託市の責任を質しました。

③職員の確保対策

県職員へのなり手不足と民間経験者の採用増について、県の対応方針を聞きました。

④急性中毒に対応可能な拠点施設の整備

県内の急性中毒患者の受け入れ態勢の強化のために、埼玉医科大学病院を県指定病院とすべきとの提案をしました。

⑤森林環境贈与税の在り方、住宅補助の充実

都市部に有利な森林環境贈与税のしくみの見直しとともに、県産木材を使った住宅補助予算の増額を提言しました。

⑥消防指令センターの広域共同運用

119番通報の全県共同運用の早期実現に取り組むよう提言しました。